

「内陸フロンティア」を拓く取組を支援

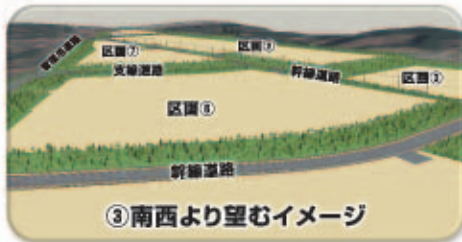
—「富士山麓フロンティアパーク 小山」に係わる造成設計他—



① 幹線道路より望む富士山(西を望む)



② 支線道路より望む富士山(西を望む)



③ 南西より望むイメージ



④ 北より望むイメージ



④ 幹線道路沿いのイメージ(南より望む)



⑦ 幹線道路沿いのイメージ(北より望む)



⑥ 1号調整池のイメージ(南より望む)



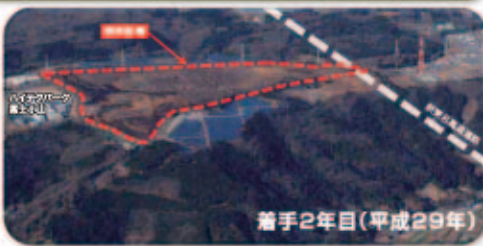
⑥ 南東より望むイメージ

※各イメージは、「富士山麓フロンティアパーク 小山」に係わり、当社が実施した測量や設計などの結果をもって、3次元モデリングソフト(SketchUp)を活用し作成したものです。(第12回技術研究発表会(Civil Seminar)にて発表)

「富士山麓フロンティアパーク 小山」の概要

- 事業主体：静岡県企業局
- 所在地：静岡県駿東郡小山町湯船地内
- コンセプト：
「富士山を借景にした森に佇む工業団地」
- 開発区域面積：A=約 31.4ha
- 分譲区画：7区画(約 23.9ha)
- 主な基盤施設：
幹線道路 W=15m、支線道路 W=11m
管理用道路 W=5m
防災施設(調整池兼沈砂池) 2箇所
公園・広場 3箇所
水道用地 1箇所、残置及び造成森林、緑地等
- 設計の主なポイント
富士山を借景とする景観への配慮

現況写真(進捗状況—南東より俯瞰)



「内陸フロンティア」を拓く取組とは

●「内陸フロンティア」を拓く取組とは
安全・安心で魅力ある“ふじのくに”の実現をめざし、平成39年を念頭に、新しい国土軸の形成に向け進められている取組。平成25年2月15日に地域活性化総合特別区域(ふじのくに防災減災・地域成長モデル)の指定を受け、県内11区域(平成29年1月現在16区域)が進められている構想。南海トラフ巨大地震等に備えつつ、事前復興の視点を取り入れた、防災・減災と地域成長を両立させた魅力ある地域づくりをめざす構想。

●内陸フロンティア推進区域とは
「内陸フロンティア」を拓く取組の全県への拡大に向けた市町取組や事業の具体化を強化するために指定された区域。(平成29年1月現在78区域)

●富士山麓フロンティアパーク 小山とは
「内陸フロンティア」を拓く取組を企業誘致の面から推進するため、小山町湯船原地区において、静岡県企業局により進められている工業用地先行造成事業。

